

私の想い

一人一人が主人公



持留公民分館
分館長
岡元 修一

田の水面に映る鯉のぼりがまるで泳いでいる様な原風景が見られる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃、各校区の分館活動にご協力頂き有り難うございます。

私は持留で公民分館長をさせて頂いて早いもので6年目を迎えております。最初話があった時は「嘘でしょう！こんな若け俺が務めがない訳がねえ」の気持ちでしたが、他の人を探してくれる様子も無く、どうせやるなら役を楽しもう。失敗したら選んだあなた達が悪いと開き直って引き受けました。動き出して見えてきたものは人口減少と共に地域の活力が弱くなって来ていると言う事です。

ここで言う活力とは「協調力」、皆で力を合わせ何かを成し遂げ、そして晩の打ち上げに集い大いに語る。

地域に住む上で当たり前だったことが今出来にくくなって来ている。それは、豊かな生活と引き換えに失った気持ちと時間の余裕であると思います。

それぞれが個々の世界になり上下関係が希薄になる事で、先輩方に伺っていた事がスマホに伺う事となり、多様な人との会話が家族内だけの会話になる。典型的な都会型生活が田舎も浸透してきています。しかし、このままでは地域は成り立って行きません。猿に市民権を奪われそうな集落も有ります。50〜60代が一番若手の集落も有ります。

今こそ協調力が試される時だと思えます。行政も財政力が落ちてきて手厚い援助も出来なくなってきたおり、行政が行ってくれる事をただ待っているだけの時代は終わりに来ています。これからは、住民みんなが地元をどの様に魅力的に創り上げて行くか、人口数だ

けでは測れない盛り上がりをおいかに作れるかだと思います。家族の為に一生懸命働いてきて、これからは、年金を貰いながら孫やひ孫の守りの隠居を決め込んでいたお父さん、地域ではまだまだ必要な存在です。今一度「老いる交換」をして地域の活力に力を貸して下さい。

それから、PTA世代の皆さん、いまだきの子供達を見ていると、格好や振舞いがおしゃれになり勉強も良く出来、スポーツ活動にも積極的で、大変利口になっている様に見えますが、世代間の交流が少ない子供達もいる様に思われます。伸びしろの多い子供達は、高齢者や地域の人達と交わる事で情操面にも良い影響が出るはずですよ。どうぞ、親子でどんどん地域の活動に参加して下さい。地域の活性化は皆の力で成し得る事で、神は皆がそして自分が楽しむ事だと思えます。

貴方の力で地域をそして、大崎町を盛り上げて行きましょう。

編集後記

大崎町に3校あった中学校が統合により四月から新生大崎中学校として生まれ変わりました。

菱田中学校・大崎中学校・大崎第一中学校の閉校式が行われ、これまで築いてきた歴史に終止符を打ちました。閉校に関しては感慨深いものがあった事だろうと思います。

四月七日、新生大崎中学校として開校式並びに入学式が挙行され、322名の生徒が新たなスタートを切りました。校訓の中に

- 一、人として備えるべき学業を追求する生徒（向学）
 - 二、人として共にお互いを認め生きる生徒（共生）
 - 三、人としてたくましい身体と強靱な精神力を育む生徒（剛健）
- が掲げてあり、大崎中学校の生徒としてお互い切磋琢磨して、新校の歴史を刻んでいってほしいと願うところです。

（神崎文男）

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 宮本昭一 副委員長 小園孝一
- 委員 上原正一 委員 吉原信雄
- 委員 神崎文男 委員 諸木悦朗

発行責任者 大崎町議会議長 中倉毅